



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東

コード番号 5603 U R L <https://www.kogi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 T E L 079-236-3221

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	19,115	△2.2	529	△44.4	587	△40.1	382	△43.9
2025年3月期第3四半期	19,535	1.0	952	67.7	979	99.3	681	76.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 588百万円 (△20.5%) 2025年3月期第3四半期 740百万円 (△50.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 116.69	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	208.57	—

(注) 2025年3月末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 35,244	百万円 18,454	% 42.1	円 銭 4,516.10
2025年3月期	33,714	18,048	42.6	4,391.17

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 14,823百万円 2025年3月期 14,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 60.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	25,760	△2.1	780	△30.2	740	△34.7	500	△37.4	152.65	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数           |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    |

2026年3月期3Q	3,362,163株	2025年3月期	3,362,163株
2026年3月期3Q	79,867株	2025年3月期	92,311株
2026年3月期3Q	3,277,725株	2025年3月期3Q	3,269,854株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に係る数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善やインバウンド需要に支えられ、経済活動の緩やかな回復を見せたものの、物価高騰による個人消費の落ち込み、アメリカの関税政策の動向、金融資本市場の変動による影響など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、『“Kai (甲斐・解)”を見出す』をキーワードに、①省人化、②脱炭素社会に向けて、③人材育成、の3点を重点課題に設定した、第8次3カ年計画をスタートさせ、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化を目指して、製品の販売価格は正による収益の確保ならびにコスト改善諸施策の一層の推進に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 191億1千5百万円（前年同期比 2.2%減）、営業利益 5億2千9百万円（前年同期比 44.4%減）、経常利益 5億8千7百万円（前年同期比 40.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 3億8千2百万円（前年同期比 43.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① Casting Field

鋳型は、造船向け鍛造用鋳型が堅調であった一方で、特殊鋼用鋳型の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期並みで推移しました。ロールは、主要顧客先の国内電炉メーカー向け案件は堅調であった一方で、国内高炉メーカー向けや輸出案件が低調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。自動車用プレス金型鋳物は、国内主要カーメーカーの新車開発計画の延期により、売上高は、前年同期を大きく下回りました。大型産業機械用鋳物は、プレス機関係が低迷したものの、大型工作機械向け、船用、発電プラント用の減速機向けが好調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。小型鋳物は、下水道・地中線鉄蓋関係、機械・上水関係、土木関係ともに堅調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。デンスバーは、国内向けは堅調でしたが、海外向けが伸び悩み、売上高は、前年同期並みで推移しました。中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司および南通虹岡鋳鋼有限公司は、中国景気の悪化や競合他社との競争激化が続く中、受注確保に努め、売上高は、前年同期を上回りました。連結子会社である株式会社小口合金鋳造所は、半導体製造装置向けの需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、172億9千7百万円（前年同期比 1.7%減）、セグメント利益 7億5千万円（前年同期比 31.8%減）となりました。

#### ② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、徳島県海部郡の大型案件の工事が進捗しましたが、売上高は、前年同期並みで推移しました。送風機は、ごみ焼却炉向け・集塵機向けが堅調であった一方で、バイオマス向けが伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。環境・省エネ商品のトランスペクターは、半導体関連の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、11億8千5百万円（前年同期比 10.7%減）、セグメント損失 △9千2百万円（前年同期 セグメント損失 △3千8百万円）となりました。

#### ③ Environment Field・機能材料

KCメタルファイバーは、自動車用摩擦材や耐火材、産業用摩擦材の需要が好調であった一方で、鉄道用摩擦材の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期並みで推移しました。

この結果、当事業の売上高は、6億1千4百万円（前年同期比 1.9%増）、セグメント利益 2千8百万円（前年同期比 29.6%減）となりました。

#### ④ その他の事業

当事業の売上高は、1千8百万円（前年同期比 10.3%増）、セグメント損失 △5百万円（前年同期 セグメント損失 △0百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、207億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千6百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が6億7千6百万円減少した一方、電子記録債権が5億1千万円、受取手形、売掛金及び契約資産が4億8百万円増加したことなどによります。

固定資産は、145億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9千3百万円増加いたしました。これは、主として投資有価証券が6億8千1百万円、機械装置及び運搬具が4億8千5百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、352億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億3千万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、132億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億1千6百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金が12億円増加したことなどによります。

固定負債は、35億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千1百万円減少いたしました。これは、主として繰延税金負債が3億1千4百万円増加した一方、長期借入金が4億6百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、167億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億2千4百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、184億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は42.1%（前連結会計年度末は42.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	3,168	2,492
受取手形、売掛金及び契約資産	10,712	11,121
电子記録債権	2,234	2,745
商品及び製品	1,462	1,424
仕掛品	1,257	1,457
原材料及び貯蔵品	1,321	1,191
その他	140	301
流动資産合計	20,297	20,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,879	2,810
機械装置及び運搬具（純額）	3,591	4,076
土地	1,256	1,340
その他（純額）	1,479	1,468
有形固定資産合計	9,207	9,697
無形固定資産		
のれん	79	67
その他	422	398
無形固定資産合計	502	465
投資その他の資産		
投資有価証券	3,477	4,159
退職給付に係る資産	65	78
長期貸付金	4	4
繰延税金資産	13	15
その他	145	88
投資その他の資産合計	3,706	4,346
固定資産合計	13,416	14,510
資産合計	33,714	35,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	3,099	2,802
短期借入金	6,422	7,623
未払法人税等	156	15
賞与引当金	340	154
災害損失引当金	50	—
その他	1,956	2,646
<b>流動負債合計</b>	<b>12,026</b>	<b>13,242</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2,410	2,003
練延税金負債	969	1,283
その他	259	260
<b>固定負債合計</b>	<b>3,639</b>	<b>3,547</b>
<b>負債合計</b>	<b>15,665</b>	<b>16,789</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	8,768	8,955
自己株式	△99	△85
<b>株主資本合計</b>	<b>11,274</b>	<b>11,474</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,704	2,189
練延ヘッジ損益	△0	△7
為替換算調整勘定	1,072	934
退職給付に係る調整累計額	306	232
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>3,083</b>	<b>3,348</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>3,689</b>	<b>3,631</b>
<b>純資産合計</b>	<b>18,048</b>	<b>18,454</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>33,714</b>	<b>35,244</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	19,535	19,115
売上原価	16,198	16,044
売上総利益	3,336	3,070
販売費及び一般管理費	2,384	2,541
営業利益	952	529
営業外収益		
受取利息及び配当金	123	132
その他	85	91
営業外収益合計	209	224
営業外費用		
支払利息	101	107
その他	80	58
営業外費用合計	182	166
経常利益	979	587
特別利益		
投資有価証券売却益	62	31
受取保険金	205	—
特別利益合計	268	31
特別損失		
災害による損失	154	—
災害損失引当金繰入額	94	—
特別損失合計	248	—
税金等調整前四半期純利益	1,000	618
法人税、住民税及び事業税	188	34
法人税等調整額	92	127
法人税等合計	281	161
四半期純利益	718	456
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	74
親会社株主に帰属する四半期純利益	681	382

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	718	456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	484
繰延ヘッジ損益	△3	△7
為替換算調整勘定	181	△271
退職給付に係る調整額	△52	△74
その他他の包括利益合計	21	131
四半期包括利益	740	588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	614	646
非支配株主に係る四半期包括利益	125	△58

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,102百万円	1,191百万円
のれんの償却額	11百万円	11百万円

(注) 前第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	17,493	—	—	17,493	—	17,493	—	17,493
環境エンジニアリング・環境	—	362	—	362	—	362	—	362
環境エンジニアリング・機械	—	904	—	904	—	904	—	904
機能材料	—	—	602	602	—	602	—	602
ソーラー	—	61	—	61	—	61	—	61
その他	94	—	—	94	16	111	—	111
顧客との契約から生じる収益	17,588	1,328	602	19,519	16	19,535	—	19,535
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,588	1,328	602	19,519	16	19,535	—	19,535
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	17,588	1,328	602	19,519	16	19,535	△0	19,535
セグメント利益又は損失(△)	1,100	△38	40	1,101	△0	1,101	△121	979

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△121百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△214百万円、営業外収益が162百万円、営業外費用が△68百万円含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
3. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に係る数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。

## II. 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	17,192	—	—	17,192	—	17,192	—	17,192
環境エンジニアリング・環境	—	344	—	344	—	344	—	344
環境エンジニアリング・機械	—	774	—	774	—	774	—	774
機能材料	—	—	614	614	—	614	—	614
ソーラー	—	66	—	66	—	66	—	66
その他	104	—	—	104	18	122	—	122
顧客との契約から生じる収益	17,297	1,185	614	19,097	18	19,115	—	19,115
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,297	1,185	614	19,097	18	19,115	—	19,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4	—	4	—	4	△4	—
計	17,297	1,190	614	19,101	18	19,120	△4	19,115
セグメント利益又は損失 (△)	750	△92	28	686	△5	680	△93	587

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△93百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△230百万円、営業外収益が196百万円、営業外費用が△58百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。